

# 日進自歩

VOL.141

発行 日進塾

夏に流した頭脳と肉体の汗が  
君の新学期を飛躍させる!だから…

## 3ヶ月夏休みは

夜だけ元気はある!



今からでも遅くない。  
毎日の生活に戻しましょう。

よく眠れない!

日々完全に燃焼しているから  
熟睡できないのです。

友達にあまり会いたい!

一人閉じこもりがち。  
君の元気と意欲をなくす。

夏休み終りの怖い!

必ずや学校が終わる日が来ます。どんな楽しい新学期。  
こんな夏休みにしていけば何も怖くありません。

宿題問題と、受験のこと、勉強の方法、苦手科目の克服法なども  
当塾は君の夏休みの悩みに何でもお応えします。

暑中お見舞申しあげます。

「君の夏休みは元気ですか?」

# キレることは悲しい..

「キレる」とは感情の高ぶり(怒り)を理性で抑えきれなくなる状態のこと。1990年代の若者言葉から出来た言葉です。最近では「逆キレ」(本来なら怒られるべき立場の人が、逆に怒り出してしまうこと)という言葉も普通に国語辞典に載っているようです。

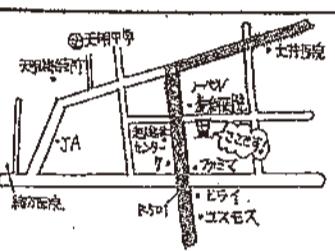
親や教師に注意されると逆ギレする中高生の話をよく耳にします。友達同士の付き合いの中にもキレやすい人がいるのは面白いでしょうか?

「キレる」という言葉を聞くと、頭脳回路の一部がパンと音を立てて切れてしまいうイメージがありますが、本当にどうなのでしょうか?

「キレる」のは君の頭脳回路の一部ではなく、君と周りのすべての人とつながっている「人と人とのつながり」ではないでしょうか?

人は一人では生きていけません。多くの人たちの優しさ、温もりとつながって生きているのです。君を愛してくれる家族や友達、君が最高の人生と幸福を獲得するための社会、多くの心ある人たちとつながって、君は君の人生を懸命に生きているのです。もし、そのつながりが切ってしまったら、君は孤独の中で日々おひえながら生きていいくかもしれません。だから「キレることは悲しいのです。

多くの人のつながりを大切にして日々を過ごしてください。



# 日進塾

096(223)3151

HP <http://www.nishinjuku.com/>

日進塾で検索!

## 夏の詩

な月夜は、つーいと  
ぬけよ。つーいと  
に花ほふよ。土だか  
ごろぜみ。ころもを  
に合ほふよ。つちから  
で月夜に、つちから  
でろよ。つちから  
ごろぜみ、こつとん

新美南吉

「うぜみ 「赤い鳥」より

山の近くを走りながら、  
母親に似て汽車の汽笛は鳴る。  
山の近くを走る時。

上手に子供を育てゆく、  
焦げて団太い向日葵が  
田舎の駅には咲いてゐる。

青い空は動かない。  
雲片一つあるでない。  
夏の真昼の静かには  
タールの光も清くなる。

夏の日の歌  
「山羊の歌」より  
中原中也



中原中也(なかはらちゅうや)

1907年~1937年 山口県出身の詩人、歌人、翻訳家。  
代表作、詩集「山羊の歌」「在りし日の歌」、「ランボオ詩集」翻訳。

新美南吉(にいみなんきち)

1913年~1943年 愛知県出身の児童文学学者。  
代表作「ごんぎつね」「手袋を賣いに」「でんでんむしのかなしみ」など多数。

